

チャレンジ工房news

第83号 平成29年2月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

裏面編集 浦部 吉久佐

イラスト Aya

工房の日々・・・ ～最近の研修風景～

最近、午後から通所されている所員さんの中で、社会復帰をすることを目標に、リハビリ程度にアルバイトをされながら、その合間に「パソコン」を勉強しに来られているAさんがいます。

Aさんは、かなり温厚で気さくな方で、他の所員さんやスタッフにもその相手に合わせた話題を持ち出して、気さくに話しかけて下さいます。

最近、Aさんが来所の時は、有り難いことに工房の雰囲気が明るくなり、他のリハビリ目的で来ている男性の所員さんたちも一緒になって、「話の話題」が弾み時間を忘れるほど、和気あいあいと話をされています。

地域活動支援センターに求められている役割の中には、「障害者が気軽に集える場」として機能することも含まれてます。所員さんが気軽に通所できて、所員さん同士・スタッフ同士気がねすることなく、和気あいあいとお互いコミュニケーションを図りながらパソコン研修に取り組んだりできることは、大きな意義をもつことだと思っています。

これからも所員さんにとって、当工房が「パソコン研修の場」である以上に、「気軽に集える場」・「憩いの場」であり続けたいと考えています。

失語症の障害をもつBさんは、今年に入って「文字入力の練習」を兼ねて、Bさん世代の方々が好む歌の歌詞を入力して貰っています。今までBさんには、Wordテキストの例文、百人一首など実際、入力してもらい繰り返し入力練習をして貰っていたのですが「ただ与えられた文字入力の練習課題をコツコツこなしている感じ」でした。

「文字入力の課題ばかりしてもらってもBさん自身も何も進展がないから、しんどい思いをさせてしまっているのではないか」と思い、Bさん世代が好む歌の歌詞を入力してもらった課題を作り、その中で文字の大きさや文字の色を変えていく練習課題もおりませ、無理なくBさんにWordの基本を指導できるようなオリジナルテキストを順次、作っています。

入力の練習課題にしている歌詞の中には、Bさんが知っておられる曲もあるらしく、歌詞を入力されているときも時々楽しそうに口ずさんでおられます。

Bさんの地道で前向きなリハビリや努力があって、昨年の入所時は会話をすること自体、ほとんど難しかったのですが、今では私たちスタッフと普通に電話で「出席のやりとり」ができるまでになりました。

選択範囲を指定したり、文字の色を変えるなどの基本操作についても、やっぱり毎日反復して覚えていくことが大事みたいで、最近には私に「だんだん分かってきたよ」と嬉しそうに話してくれます。私もBさんにもっとスキルアップして貰えるようなテキスト作りやきっかけ作りをしていかないと考えている今日この頃です。

2月3月の日程

2/11(日) 町内会防災訓練
9:50～11:30
センタープールにて
※11日の振替で13日(火)は臨時休所。

2/18(日) 絆市
10:00～15:00
コープ尼崎近松店
※花言葉カレンダー・和紙のレターセット
を販売しました。

3/8(木) 尼うえるフェア
10:00～15:00
市役所1Fロビー
※オリジナルイラストカレンダー・和紙の
レターセットを販売します。

1月17日大庄地区防災訓練に参加しました

“阪神大震災を忘れない”防災訓練に参加しました。

大島小学校へ集まり、南海大地震がおこったという想定で、3階校舎へ避難訓練をしました。今回は、稲葉荘の稲葉園からの自発的参加があり、一緒に並んで訓練しました。電動車いすを4人がかりで運んでもらい、曲所長は消防団員に背負ってもらって上がりました。



障害者団体からは、「震災時の連携を作っていくため、①町内会に加入しよう。②町内行事に参加しよう。特に防災訓練で日ごろからの付き合いを広めておきましょう。③作業所内に備蓄品を準備し、震災時には近くの方に使っていただく。食事の出来るところは“炊き出し”をしよう。その準備を始めよう。」という提案を受けています。一つ一つ実行していきます。

(広瀬 徹)

町内会の防災訓練に参加しました・・・

11日の建国記念の日に、尼崎センタープール周辺の8つの町内会合同での「南海トラフ津波地震」に備えての防災訓練があり、数名の所員さんと参加してきました。

今年度より、当工房も町内会に加入したこともあって、有難いことに町内会長さん自ら好意的に「自然災害は起こらない方がいいけど、万が一のために避難訓練はしとくほうがいいから皆さんで参加してみないか」と今回の防災訓練に誘って下さいました。



訓練当日も町内会長さんと役員さんたちでスタッフも所員さんたちも工房から誘導してもらい、実際センタープールの3階まで一緒に上がって頂きました。

今回は訓練だったので、エレベーターを使って3階まで避難したのですが、「いざ地震が来たら、エレベーターを使えるかわからない。所長さんや他の所員さんを抱えることを考えないとね」と役員さんと地域の方が話されていること、ずっとそばに聞いていたので、地域の方々の温かさに恐縮するばかりでした。

また、野菜市を開催したり、年賀状の季節になったら格安で地域の方々からの注文を受注するなどして、私たちが工房で日頃からできることで、その恩を少しでも返していかなければならないと思いました。

今回の訓練は、「南海トラフ津波地震」がおこって、センタープール周辺の約1000人の人々が「センタープールの3階に一斉に避難する」という想定での訓練だったので、地域の方々に混じって現実に近い形で所員さんたちと訓練をすることができたので、とても意義があった訓練でした。

「南海トラフ地震」がおこる確率も年を追うごとに、高くなる一方なので、先月と今月の地域での防災訓練を踏まえ、所員さんやスタッフの障害の特性に合わせた防災計画の策定や備蓄品の整備をすることを工房の最優先課題として、考えていきたいと思っています。

兵庫県障害者スポーツ優秀選手賞を頂きました・・・

この度、昨年11月に千葉国際水泳場にて行われた「身体障害者日本水泳選手権」での成績(50m背泳ぎ2位)などが評価され、自身3度目となる県から「障害者スポーツ優秀選手賞」を頂きましたので、ご報告させていただきます。

この場をお借りして、私が工房の所長として7年間勤務を続けられてきたことも、水泳を続けられていることも、運営法人の会員さんをはじめ、所員さん、絶えず支えてくれているコーチやヘルパーの方々、友人があつてのことなので感謝しお礼申し上げます。

再来年の工房10周年に向けて、所員さんともに成長し、確実に一つずつ自分がやるべきことができればと思っています。

(曲 圭子)